

平成18年度 堤根余熱利用市民施設の管理運営に対する評価について

1 指定管理者

(1) 指定管理者	堤根余熱利用市民施設共同事業体（川崎市川崎区宮本町2番地20） 代表事業者：財団法人川崎市リサイクル環境公社
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日
(3) 業務の範囲	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温水プール、老人休養施設管理運営に関すること。</li> <li>・健康増進を主としたカルチャースクールの企画・開催に関すること。</li> <li>・施設の利用許可、利用料金の徴収に関すること。</li> <li>・施設等の維持管理に関して必要なこと。</li> <li>・その他市が施設の管理運営に関して必要と認めること。</li> </ul>

2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成18年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
管理体制と人材の育成	<p>公共施設の適正な維持管理・運営を図るため、「安全」と「市民サービスの向上」に配慮して適正な職員配置を行い、初めての方にも快適にご利用いただいた。</p> <p>また、様々なケースを想定した研修を実施するとともにフォロー体制を強化したことにより、適切に業務を実施できた。</p>	<p>長年培ってきたノウハウを活かし、利用者が安心して利用できる管理体制がとられている。今後も快適に利用できるよう運営すること。</p>
施設・設備の維持・管理に関する業務	<p>安全で快適な施設を利用者に提供することは、管理者としての責務であることから、日常の点検や施設の清掃をきめ細かに実施した。機器の定期点検については、専門業者に委託し年間を通し安定した運営に努めた。また、休館時には改修工事や職員による樹木の剪定、小規模な設置物の修理を行い、施設・環境整備に努めた。</p>	<p>職員による樹木の剪定や小規模修理など、ノウハウを生かし細やかに管理されている。今後も快適な施設管理に努めること。</p>
危機管理	<p>不慮の事故や災害に備え、人命に係る蘇生が行えるよう、AED（自動対外式除細動器）を購入し、使用方法についての研修を受講し、更なる緊急時の対応に備えることができた。また、地震や災害の発生に備え、防火管理者を中心に緊急連絡網の徹底や非難時の役割についてミーティングを行い、利用者への安全誘導について再確認した。</p>	<p>AEDを新たに設置し、使用に関する研修を受講するなど、緊急時に備えている。今後も利用者の安全を確保できるようミーティング等で意識啓発を行うこと。また、実施訓練を定期的に行うこと。</p>
利用者へのサービス向上	<p>平成18年4月から遊泳時間の延長や水曜日の開館を実施したこと、また、12月からポイントカードの導入を実施するなど、利用者サービスに努めた。障がい者の方の利用についても、障がい者団体を受け入れるなど安全を第一に利用拡大を行った。老人休養施設についても中庭に2台のベンチを製作し設置するなど、憩いの場づくりに努めた。</p>	<p>ポイントカードについては、利用率が非常に高く新たなサービスとして評価できる。また、ベンチを自主的に設置するなど利用者へのサービス向上に取り組んでいる。</p>

(2) 利用状況					
	利用状況について (人)			ポイントカードの導入や水曜日の開館により、利用者数を増加させている。周辺に大型マンションが建設されていることから広報を工夫し、利用者を増加させるよう取り組みを行うこと。	
		温水プール	老人休養施設		合計
	大人	98,056	38,110		136,166
	小人	15,894	0		15,894
	合計	113,950	38,110		152,060
利用者年度対比 (人)					
	平成18年度	平成17年度	前年対比		
温水プール	113,950	109,833	4,117		
老人休養施設	38,110	38,791	681		
計	152,060	148,624	3,436		
平成18年度から水曜日も開館					
(3) 収支状況					
収支状況について	ア 収入の状況	収入金額		新設した水泳教室などに参加者が集まらなかったため、新規コースが中止となり事業収入が計画を大きく下回っている。水泳教室の種類や時間など、利用者が参加しやすいように計画を見直すこと。経費の削減については、一定の評価ができるがサービスの低下を招かないように努めること。	
		・事業収入	24,055,441円		
		・指定管理料収入	49,041,000円		
	・雑収入	4,789円			
	収入合計	73,101,230円			
	イ 支出の状況	支出金額			
		・事業費支出	744,887円		
		・管理費支出	73,752,734円		
		支出合計	74,497,621円		
	ウ 収支差額		1,396,391円		
(4) その他					
利用者からの意見・要望等への対応	利用者からの意見・要望については、検討を行い必要と思われるものについては、早急な対応を実施している。また、予算的に困難な事項や施設スペース的に設置が困難な事項については、市担当部課に報告し協議をしている。	対応が必要な意見・要望については、早急な対応を実施している。利用者の意見を反映し、快適な施設づくりに努めること。			
	1 プールのコース配分 泳ぐコースと多目的コースの配分については、利用者の意見を聞きながら決めている。曜日や時期あるいは利用状況を見ながら最適な配分になるよう対応している。	利用者の要望を聞きながら、状況に応じて対応している。今後も最適なコース配分となるよう努めること。			
	2 施設案内表示 更衣室・トイレの表示については、文字が読めなくても理解できるように日本語表示から絵表示に変更した。 また、19年度中に外国語版の手渡しできるパンフレットの作成に取り組む。	日本語以外の表示についても対応を図ること。			

		3 プールマナーの徹底 化粧をしたままの遊泳や飛び込みなどについて、ルールを守るよう全館放送を実施しているほか、監視員に違反者には注意を行うよう指導を徹底した。	利用者同士のトラブルが起きないように今後もルールの遵守を呼びかけること。
	個人情報の保護	個人情報保護については、一括保存し適正に管理している。個人情報は必要最低限の収集に止め、保管・管理について十分配慮している。	全職員を対象とした個人情報保護に関する研修を実施し、取扱いについて徹底すること。
	災害発生件数	温水プール 2件 ・ 升目に左足薬指が入り負傷 ・ 蓋の継ぎ目で右足拇指丘が負傷  老人休養施設 0件	負傷者本人及び御家族の方に謝罪し適正な対応をしている。負傷の原因箇所についても早急に対策を講じている。ゼロ災害に向けて適切な管理運営に取り組んでいくこと。

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

平成18年度は、指定管理業務1年目であったが、共同事業体としての利点・特性を生かしながら利用者へのサービスの向上に努めていた。ポイントカードの導入や水曜日の開館などにより、利用者数を増加させたこと、施設整備等による利用者へのサービス低下を考慮しながら「安全を最優先」した快適な施設管理に取り組むなど、公共施設として利用者身近で気軽な「憩いの場所」、「健康増進の拠点」を提供してきたものと評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

水泳教室の計画については、利用者の意向を十分に調査し、募集した教室が中止になることがないように種類や開催時間などを設定すること。また、利用者の方に安心、安全に施設を利用してもらえるように今後も維持管理に努めていくとともに、モニタリング調査等を行い、利用者が快適に過ごせるようにサービスの向上にも積極的に取り組んでいくこと。